

# 東京オリンピック男子バレーボール競技 アルゼンチン代表チーム & ベネズエラ代表チーム

## 薩摩川内市事前キャンプ



### アルゼンチン・ベネズエラの概要

**アルゼンチン共和国** (南アメリカ)

人口 / 4478万人

面積 / 278万平方キロメートル

首都 / ブエノスアイレス

言語 / スペイン語

食文化 / 肉料理中心、魚などはあまり食べない。最近では日本食もブームに。

世界ランク / 6位

**ベネズエラ・ボリバル共和国** (南アメリカ)

人口 / 2851万人

面積 / 91万2050平方キロメートル

首都 / カラカス

言語 / スペイン語

食文化 / アレパ(とうもろこしをすりつぶしたパンでできる薄焼きパン)に肉や魚をはさんで食べるのがソウルフード

世界ランク / 36位

7月、本市にて、東京2020オリンピック競技大会男子バレーボール競技に出場するアルゼンチン代表チーム(本市ホストタウン)とベネズエラ代表チームが、事前キャンプを行いました。キャンプ期間中は、競技以外での3密の回避、消毒、手洗い、マスク着用、体調管理、選手団や受け入れ関係者へのPCR検査の実施、選手団への行動制限など、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しました。

本市は、両チームの激励、また交流を深めるため、田中市長を団長として、事前キャンプ受け入れに関わる団体などで構成する「薩摩川内市・東京オリンピック事前キャンプ応援団」を発足し、さまざまな取り組みが行われました。



### オンライン歓迎式

各国チームの歓迎式は、市役所本庁とサンアリーナせんだいをオンラインで結び、その様子を市公式YouTube「薩摩川内市チャンネル」でライブ配信しました。市内数カ所の小学校では、GIGAスクールの授業の一環として、タブレット端末やモニターを用いて観覧するなど、新型コロナウイルス感染症対策を講じながらも選手を歓迎しました。



▲アルゼンチン代表チーム歓迎式(サンアリーナせんだいと本庁を結んだ様子)



▲アルゼンチン代表チーム歓迎式(サンアリーナせんだい)

実際にオンラインで歓迎式を観覧した八幡小学校4年 村山瑛奏さんは、オンラインで歓迎式を見て、「選手たちの体つきがすごく大きくて、びっくりした。一生懸命応援したい」と話し、実際に生で見ることができなかったものの画面を通して選手たちの迫力を感じ、笑顔を見せました。



▲八幡小学校でのライブ配信観覧の様子



▲樋脇小学校でのライブ配信観覧の様子

### 母国の味でチームを応援!

さらに、市役所では、7月14日、ホストタウンとしてアルゼンチン代表チームを応援する機運の醸成を目的に、市長ら約50人で、アルゼンチン料理をデリバリーで注文。チームの食事を担当された、にしやま食品のご協力を頂き、食を通じての文化交流も行うことができました。



▲実際のお弁当はすごいボリュームでした。アルゼンチンの郷土料理。ミラネーサ(肉のカツレツ)とエンパナーダ(具入りの揚げパン)



▲牧内磨利央さんからアルゼンチン料理の説明を受けながらお弁当を味わう田中市長

### 最高の環境で練習を

本市とオンラインや食を通じた交流を交わしながら、両チームはそれぞれ、オリンピック本番に向け、サンアリーナせんだいでコンディショニングを整えました。

サブアリーナのフロアはFIVB(国際バレーボール連盟)が公認するタラフレックスを採用しており、実戦に近い環境で練習に取り組みました。また、アリーナはスポーツ交流研修センターと直結しており、選手たちはスムーズに練習やトレーニングに励んでいました。

さらに、スポーツ交流研修センターでは、チームに合った食事が提供され、とても充実した練習を行っています。

